

2007.9.5 曇りのち晴れ 三重嶽・間の谷から山頂 A 舎例会 9人



昼食（谷の 2/3 辺り）

924 出発 1230 昼食 1250 発  
1504 山頂 1522 発 1701 南東尾根  
經由林道

本日もどのような谷か？なので、一代前のデジカメを持参したが、谷登りでは、ほとんどザックのなかゆえ、休憩中の写真しかない。



トリカブト

間の谷を林道に橋の下からスタート。2mくらいの小滝が結構あり、要所所でロープを用いて進む。まむしがいたり、数mの滝を高巻きしたり、よじ登ったりで昼食。おにぎりよりも、持参したグレープフルーツの冷えたカケラは元気を復活させてくれる。



頂上も近いところでの小さな滝

花はトリカブトがいたるところにあった。ナツエビネもあったが、実が大半。

八王子谷では水量が多く、腰まで浸ることがあったが、ここではせいぜい膝上まで。でもシャワークライミングは結構あったと記憶。

谷のぼりではあったが、陽射しのあるところは暑い。水もそんなに冷たくはない。

谷を思い切り詰めて行き、最後のひと登りで山頂到着という感激的なコースであった。



山頂 高島トレイルの標識



南東尾根のブナ林 (変形種多い)



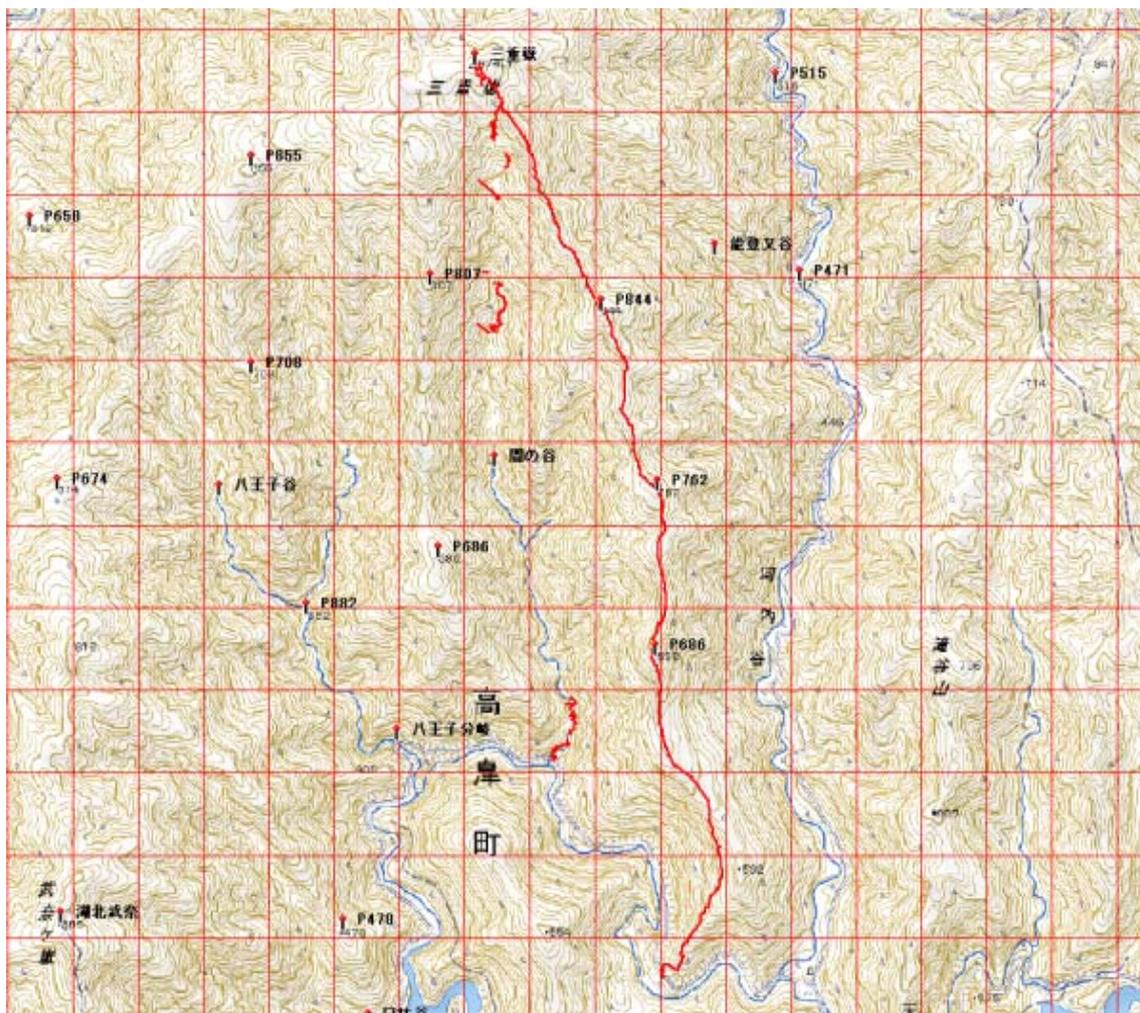
ヤマボウシの実

山頂のヤグラからは 360 度の展望であつたが、一部ガスがかかつており、また、曇り空でもあつたので、景色に感激ということはなかつた。靴を履き替え、南東尾根をくだつた。このブナは見慣れた真っ直ぐなブナではなく、曲がったり、幹が数本もあるような独特のもの。



南東尾根の登山口

他に目立つたのはヤマボウシの実、ナツエビネの花 (実ではなかつた)。谷のつらかつた登りに比べ、道のあつた下りの南東尾根をルンルンと下つた。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

間の谷では電波状態が悪かったので SW-OFF とした事情もあり、途切れています。

トップページは<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。